

## 2025年度 ニチキッズえべつ駅前保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月6日（月）～1月31日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月21日（土）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	園の保育理念を職員間で再確認し、日々の保育の中で子ども一人ひとりを大切にする保育の実践に努めた。今後も理念の共有を深め、保育の質向上につなげていく。
子どもの発達援助	子ども一人ひとりの発達段階や個性を踏まえ、遊びや生活を通じた関わりを大切に。保育内容の見直しを行いながら、発達に即した援助の充実に努めている。
保護者に対する支援	日々の対話や懇談会等を通して保護者の思いに寄り添い、丁寧な情報共有と支援を行った。今後も信頼関係を大切に、家庭と連携した支援の充実に努めていく。
保育を支える組織的基盤	基本的業務の徹底を図るとともに、ミーティングや職員会議での振り返りや学び合いを行い、職員間の連携強化に努めた。今後も組織としての保育力向上を目指していく。

総評
<p><b>■総評（修正版）</b></p> <p>本年度は、子どもの発達に即した保育の実践と保護者支援の充実に重点を置いて取り組んできた。日々の保育では、一人ひとりの思いや育ちに寄り添い、安心して過ごせる環境づくりに努めた。行事については、保護者と子どもが共感し合える内容となるよう工夫を重ねた。</p> <p>また、新たな取り組みとして子育て広場の一環を兼ねた太鼓鑑賞会を企画・実施することができた。今後も学び合いと振り返りを大切に、保育の質向上に努めていきたい。</p>